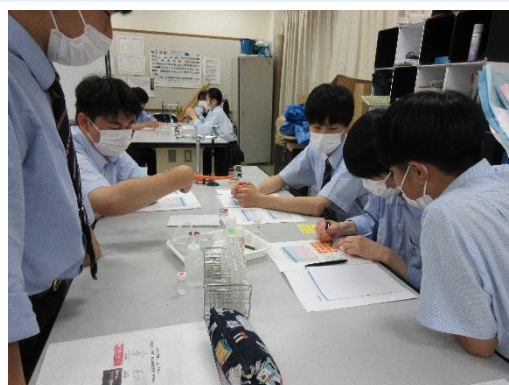


# SANS FRONTIÈRES

## vol.58

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

### 医歯薬講座 千葉科学大学 実験講座



7月16日(土)、1、2年生を対象に医歯薬講座が開かれました。今回は千葉科学大学 薬学部の先生方による、実験講座です。

「アセトアミノフェンを探せ

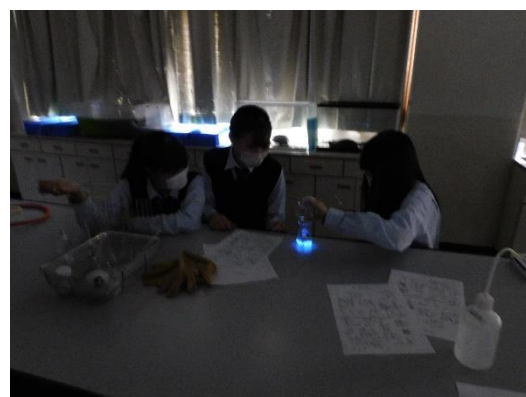
～化学の力でかぜ薬2種類を見分ける方法～

野口拓也先生

「光る水でつくる喜びを体験」川島裕也先生

「生物の設計図 DNA」岡本能弘先生

生徒たちは3講座から選択して受講しました。



説明を受け、手順を確認し、慎重に実験を進めます。

思うような結果が出た時、驚くような変化が生まれた時は、思わず歓声が出ます。

生徒たちは、科学の不思議さ、面白さを感じ、新しい知識を得ることができました。

今回は、医歯薬コースの卒業生で千葉科学大学に進学した先輩が、実験を手伝いに来てくれました。大学生らしくなった姿は頼もしく感じられました。

### 医歯薬講座 教えて先輩



8月16日(火)、医歯薬講座「教えて先輩」が実施されました。COVID-19の影響で、しばらくぶりの開催となります。

医学部医学科、薬学部、保健医療学部(診療放射線、作業療法、看護)、理系学部(工学部、理学部)の各学部から13名、昨年度卒業した方から、5年生までの先輩方が来校してくれました。

忙しい中、「後輩のためなら」と、快く引き受けてくれた先輩たちは、写真を交えたりしながら、大学生活や実習の様子などを話してくれました。また、高校時代の学習法や授業への取り組みなど、コース生にとって身近な関心事についても率直に話してくれました。真摯に学んだ先輩方の体験は、コース生の刺激になったようです。

## 医学科および難関大学に関する講演会

6月18日(土)、希望する生徒と保護者を対象に、医学科と難関大学志望者のための講演会が実施されました。講師は駿台予備校の大塚宏道先生です。

データをもとに、具体的な事例を交えての講演は、漠然とした「難関」「難しい」というイメージだけの状態から「何がどう難しいのか」「どういう準備が必要か」など具体的な対処を考えるような契機になりました。

## 共通テスト分析 生物

2022年1月に実施された大学入学共通テスト生物は、大問は6題、小問は26題で28ページ、大問ごとのページ数と小問数は第1問が3ページで小問3問、第2問が6ページで小問6問、第3問が5ページで小問5問、第4問が4ページで小問3、第5問が4ページで小問4問、そして第6問は6ページで小問が5問であった。テスト時間が60分なので見直しの時間を考慮すると、大問1問当たりの問題を解く時間は10分以下である。多数の教科書等には出てこない事象の図や表の読みこなしを行うことを考えると、読解力が試験の出来不出来を大きく左右することとなる。

一方、これまで各大問における出題の定型であった、前半の文章【A】を読んで解く教科書の知識や基本事項を確認する問題と、後半の文章【B】を読んで解く教科書や問題集にはない事象を題材に思考力や応用力を試す問題の出題パターンは第2問だけであり、他の大問5問については今までの出題傾向とはやや趣が異なる。問題中に会話文が増えたことも今回の特徴である、これは会話文を読み解くことで「仲間とのコミュニケーション」を通して、問題解決をおこなう能力を評価するためである。さらに各大問の出題は教科書の一領域だけでなく、複数領域にわたる総合問題形式となっており、幅広い事象を融合させて考える力も必要となる。

では難化した問題に対して、どの様な学習が効果的なのだろうか。まず、「生物基礎」から「生物」の全領域の専門用語(太字)を把握することである。単に語句を覚えるのではなく、現象を科学的にしっかりと理解することが大切である。そして、各大問が総合問題形式であることから、他の事象との関係を確認しながら学んでいくことも必要である。この様な学習を行うことで、長い問題文と図・表の理解に掛かる時間の短縮が期待できる。

次に問題集や過去問の利用である、考察問題を解くためには「慣れ」つまり問題演習がとても効果的である。多くの教科書が出題形式の大きな変更のために、センター試験の問題集や過去問を利用するのに制限がある。しかし、生物は各大問の【B】問題に関して、既に20年以上前より教科書にはない事象、グラフや表により思考力を試す総合問題形式の出題をテスト的に実施してきた。この為、センター試験、対策模試の過去問および問題集の【B】問題で十分にその対策ができるであろう。

今、書店の参考書・問題集コーナーには、「〇〇日間大学入学共通テスト生物これだけやれば大丈夫」の様な名称のシリーズが並んでいる。これらの問題集は一般的には軽視されがちであるが、短期間で基礎事項を確認し、傾向と対策を把握するには効果的である。これらの問題集は、期間が短いほど重要事項(出る順)の上位が扱われていると考え、自分の学力や目的に合わせて選ぶことが大切である。

最後に、各受験産業がおこなう全国模試は、大学入学共通テストの傾向と対策を十分に研究した上で出題されている。模試を受験した後に点数や偏差値を見て一喜一憂するだけではなく、じっくりとやり直しをすることをお勧めする。また、各大問の問題文や選択肢についても、もう一度読み直し、分からない事象や専門用語の確認を時間をかけておこなうことで、より一層の有効活用ができることと思う。

## 2学期の始まり

2学期が始まりました。課外授業はあったにせよ、長期休業の後で、残暑が厳しい日があったりして、「やる気がでない」「なんだか生活リズムに乗れない」ということがあるかもしれません。

しかし、2学期は大切な時期です。

3年生は入試の準備が具体的になり、推薦入試が始まります。1、2年生は、それぞれの学習内容がより高度になります。

どうやったらこの時期を充実させられるでしょうか？

「心の整えかた トップアスリートならこうする」 田中ウルヴェ京

NHK 出版

この本が何かのヒントになるかもしれません。トップアスリートに限らず、どうやったら心を整えることができるか。手にとってみてください。

